



2020年度 活動報告

無所属 40歳

皆さまにお配りすること **191万9215枚を突破!** 埼玉県議会議員 県政報告

井上わたるの配るホームページ 第71号



年明けからは県議会も県庁も新型コロナウイルス対策が中心になっていますが、取り組むべき県政の課題はそれだけではありません。今号では和光市のまちづくりに関わる県事業をご紹介します。



井上わたるの和光ブログ

発行元 埼玉県議会議員 井上わたる事務所
連絡先 (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡503号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail : inoue_airline@yahoo.co.jp

新型コロナ対策など日々状況が変わる【最新情報】は引き続きネットを活用してお伝えします!

19年度&20年度の和光市内の県事業

① 国道254号バイパス 整備

朝霞大橋周辺の4車線化工事が進みました。(写真は2車線の時の様子)現在、朝霞市・志木市内の工区を中心に工事を進めています。



③ 和光インター線 (水道道路) セブンイレブン付近 舗装修繕

水道道路と坂下ショッピングセンターの間の特に損傷が大きい箇所の修繕を行いました。



② 新河岸川・河川改修・掘削工事 (堤防造成工事に合わせて川底を深くする) ・芝宮橋の架け替え工事

昨年の台風19号では越水の恐れがある高さまで水位が上昇しました。引き続き堤防の造成工事を進めます。また、越戸川・白子川の改修を推進するためにも下流部に当たる新河岸川の工事の早期完成が重要です。また芝宮橋の架け替え工事も順調に進行中です。



④ 和光インター線 漆台歩道橋 塗装塗り替え工事

老朽化していた歩道橋を直すと共に、歩道部分にベビーカー・車いすの安全通行に関する周知ポールを新設しました。



⑥ 和光志木線 ・北原小学校正門 歩道拡幅工事 ・ガソリンスタンド反対側 歩道拡幅

北原小学校正門前の狭い歩道を拡幅しました。また児童の待機場所となるガソリンスタンドの反対側も用地を提供いただき、歩道の拡幅が実現しました。



⑤ 練馬川口線 (=笹目通り・オリンピック道路) レインボーモータースクール 周辺 舗装修繕

8月中に片側部分の施工が完了しました。残りの工事も順次進めていきます。

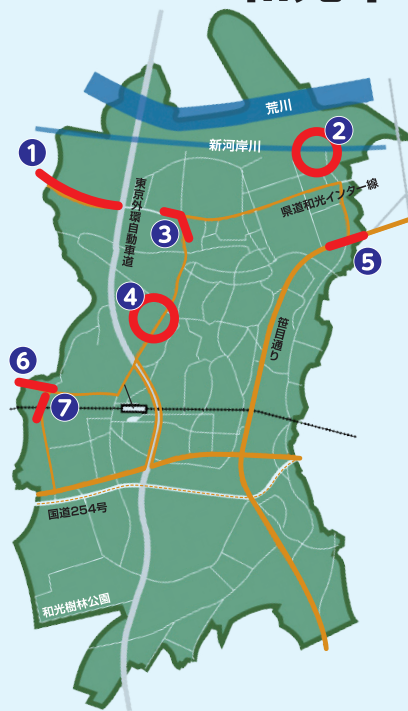


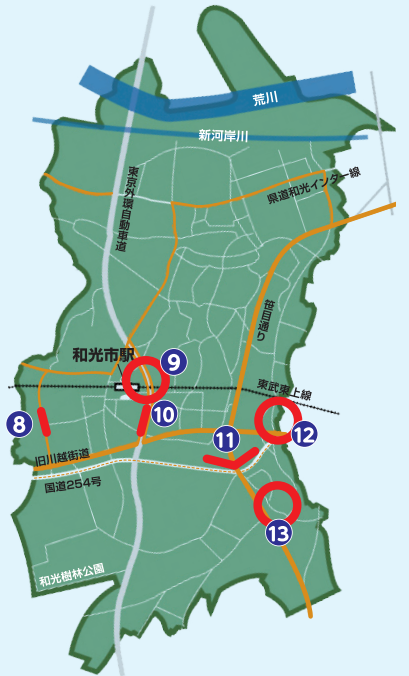
⑦ 和光志木線 アンダーパス部分 舗装修繕

清水通りの HONDA から北原小学校の間の路面を修繕しました。かねてから表面が削れたり、路面標示が薄れたりしていたため、修繕要望を行っていた箇所です。



和光市





8 東京メトロ車両基地付近 歩道バリアフリー工事

これまで本町小学校や菅野病院付近の歩道バリアフリー化を進めてきました。その延長として、東京メトロ車両基地付近の歩道バリアフリー化工事が行われました。



9 東武鉄道の高架橋(外環側道) のボックスカルバートの ひび割れ補修

昨年、調査と工事の詳細設計を行ったため、今年度は具体的な耐震工事をを行います。

11 国道254号線(川越街道) 和光陸橋付近の舗装修繕

昨年度は和光陸橋の成増方面側の修繕を実施しました。今年度は和光陸橋の西側(朝霞方面側)の修繕を行う予定です。



10 外環側道(県道部分・和光IC付近) の路面補修

外環側道の県道部分について、和光IC出口から南側を路面補修しました。また、農協通りとの交差点については、交差点内停車を減らすための赤色枠線が設置されています。



12 国道254号線(川越街道) 都県境付近の電線地中化 に向けた予備設計

東京都区間については既に完了しているため、埼玉区間の地中化を推進します。



13 白子川 生態系調査

白子川は環境配慮型の河川整備を目指す方針としています。その第一歩となる生態系の調査を行います。

※2020年度事業についてはまだ未実施のものもあります。
※今後実施する事業については、写真に写っている箇所と実際の工事箇所が異なる場合がございます。

その他にも... 県土事務所のお仕事 & 県警のお仕事を紹介します!!

路面標示や交通標記のパトロールも県警の仕事です!

本町小学校付近の旧川越街道では「追い越しのためのセンターライン右側ハミ出し通行禁止」の意味を持つ、道路中央のオレンジ実線が摩耗していました。県警の調査で発見され、引き直しが行われました。



「通学路安全総点検」の結果もしっかりと反映します!

市や県など関係機関が協力して「通学路安全総点検」を行いました。その中で「第三小学校前歩道橋の浅久保通り側が暗く人目も少ない」という声が上がっていました。そこで県では、歩道橋に「LED電球の街灯」を設置することにしました。



1分1秒でも早く現場に! 「現場急行支援システム」を和光消防署前に設置。

この装置は通称「FAST(ファスト)」と呼ばれる装置でポールの下を消防車や救急車が通ると、その付近の信号機に電気信号が飛んで、優先的に青信号になります。出勤しても、すぐさま国道254号線の赤信号に引っかかってしまえば、その時間がロスになります。そこで1分1秒でも早く現場に駆け付けられるために、このファストが設置されました。県内でもまだ70か所くらいしかない新しい技術です。



白子三丁目の右折信号は「県警」と「県土事務所」の協力で実現!

県道練馬川口線(=笹目通り・オリンピック道路)の白子三丁目の区画整理区域の南側交差点では、ベルクのオープンもあり、光が丘方面から来た車が右折するニーズが高かったのですが、十分な右折スペースも、また右折矢印信号もない状況でした。これを区画整理の進捗に合わせて、「道路の右折帯整備を朝霞県土事務所」「右折信号の設置を県警」と同時に取り組んできた結果、実現に至りました。(ベルクのオープンに間に合うよう私も要請を重ねてきました。)



今号は規模の大きな県事業を紹介しました。次回72号では皆さまの気づきや声を県に届ける『架け橋プロジェクト』で実現した事例をご紹介します。

